

鹿児島市中央卸売市場経営展望後期計画（素案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1. 意見の募集期間 令和7年12月26日（金）～令和8年2月9日（月） 46日間

2. 意見の提出者数（件数） 4人（26件）

3. 意見の対応状況 (単位：件)

項目 処理区分	1. 今後の対応すべき課題について	2. 目指す理想像について	3. 基本戦略及び取組項目（施策）について	4. 収支計画について	5. 素案全体について	計
A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	1	1	1		1	4
B. 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの	4	3			1	8
C. 計画案には盛り込まないもの		1		1	1	3
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	2		4			6
E. その他要望・意見等	1			1	3	5
計	8	5	5	2	6	26

4. パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（令和7年12月26日～令和8年2月9日実施）

意見等を受けた人数
4 人

項目別の件数

項目	件数
① 今後の対応すべき課題	8
② 目指す理想像	5
③ 基本戦略及び取組項目（施策）	5
④ 収支計画	2
⑤ 素案全体	6
計	26

対応区分別の件数

対応区分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	4
B. 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの	8
C. 計画案には盛り込まないもの	3
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	6
E. その他要望・意見等	5
計	26

パブリックコメント手続での意見

○対応区分 「A. 計画案に盛り込むもの」、「B. 計画案に盛り込み済みのもの」、「C. 計画案には盛り込まないもの」

「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	①	課題4 災害対応力の強化 「地震や台風などの災害時にも」を「桜島大噴火や地震、台風などの災害時にも」とした方が、より理解できると思う。	ご意見を踏まえ、V-「課題4 災害対応力の強化」の1行目「地震や台風などの災害時」を「桜島大規模噴火や地震、台風などの災害時」に修正します。	A
2	②	魚類市場の輸出額については、現在の輸出先と金額（上位3か国）を記載した方が理解できる。	令和6年度の輸出額の状況については、「2 本市の動向（9）魚類市場の輸出金額の推移」に記載します。	A
3	③	衛生管理に対する取組 「衛生品質管理マニュアルに基づき」は「HACCPを取り入れた衛生品質管理マニュアルに基づき」とした方が、HACCPを導入した意義があると思う。	ご意見を踏まえ、VIII-2-「災害時にも機能を維持する安心安全体制の維持」の「衛生管理に対する取組」の第一項目中「衛生品質管理マニュアルに基づき」を「HACCPに沿った衛生管理マニュアルに基づき」に修正します。	A
4	⑤	後期計画の推進について、行政、関係団体、協議会等と協議し、各年度の達成度を確認するため、PDCAサイクル図を示し、推進してもらいたい。	後期計画の推進については、「X 計画の推進」で、開設者と市場関係業者で計画の達成度の評価などを行い、次期経営展望の策定に反映させることとしておりますので、ご意見を踏まえ、「PDCAサイクルを踏まえた進捗管理を行い」を加えるとともに、サイクル図も表記します。	A
5	①	課題3 市場の魅力発信と市民との接点の強化 青果市場は、旬な野菜、果物やレシピを市ホームページに掲載しているが、魚類市場は、旬な魚やレシピが全くないので、今後は市ホームページへ掲載してもらおうと市民への魚食普及につながると思う。	魚類市場における情報については、市ホームページへ掲載しており、VIII-3-「食」に関する情報発信とブランド力強化」の中で、「マスメディアとの連携やホームページの活用等により地魚を使った郷土料理のレシピや旬のさかな、せりなどの情報発信を行い、県内の水産物のPRに取り組む」こととしており、今後も分かりやすいホームページ作りに努めます。	B
6	①	課題2：施設は新設されたが、デジタル化はほぼされていない。発注・発送を特にすすめないといけないと考える。	VIII-1-「業務内容の見直しとデジタル化による効率経営」の「デジタル化による効率経営」中で、業務の効率化と生産性向上を図るため、開設者と市場関係者が連携してデジタル技術の積極的な活用を検討していくこととしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
7	①	課題5：課題2にも関係するが、3Kのイメージが強いことが、若手不足をまねている。	VIII-3-「市場の担い手確保と人材育成の推進」の中で、高校生などの若年層に向けたインターンシップや職場見学の積極的な推進、職場環境の改善などを掲げており、市場関係業者と一体となって市場の魅力向上に努めてまいります。	B
8	①	魚類市場について、朝が早い、くさい、休みがないの悪い要素がある為、若者が集まらない。年配の方は今までの先入観で物の考え方をしている。若者は斬新的な考えが充分にある為、若者を入社させるべきである。	VIII-3-「市場の担い手確保と人材育成の推進」の中で、高校生などの若年層に向けたインターンシップや職場見学の積極的な推進、職場環境の改善などを掲げており、市場関係業者と一体となって市場の魅力向上に努めてまいります。	B
9	②	青果市場の年間取扱量が令和6年度はかなり落ちているが、文中へその理由を明確にしたい。	減少の理由については、VI-「(3)取扱数量の指標」の中で「人口減少や流通構造の変化による市場経由率の低下といった構造的課題に加え、近年の猛暑による品質劣化や物流コストの増加が影響しています」と記載しております。	B
10	②	デジタル化にあわせ、輸出等をすすめるのは大事であるが、仲卸業者で特に衛生面での管理の意識の差が大きいことが、障害になると思う。	VIII-2-「災害時にも機能する安心安全体制の構築」の「市場関係業者への啓発」の中で、衛生検査機関などと連携し、市場関係業者への講習会などを定期的開催することとしており、市場内での衛生管理の周知・徹底に努めてまいります。	B
11	②	商品を市場に配送することにこだわらずに、伝票だけを通し、産地直送による配送を増やすことを検討してもいいと思う。	VIII-1-「販路拡大に向けた取組」の中で、「取引調整会議で市場取引の秩序を維持しながら販路拡大、品揃え充実のため、第三者販売や直荷引き、商物分離などの制度を有効活用する」こととしております。	B
12	⑤	素案に問題点は少ないが、市場内で働く人の高齢化や意識が最終的に大きな課題になるのではと思う。	VIII-3-「市場の担い手確保と人材育成の推進」の中で、高校生などの若年層に向けたインターンシップや職場見学の積極的な推進、職場環境の改善などを掲げており、市場関係業者と一体となって市場の魅力向上に努めてまいります。	B
13	②	魚類市場の輸出額については、令和12年度の輸出先と金額（上位3か国）を記載した方が理解できる。	令和12年度の輸出先等については、海外市場の変化に大きく左右されることから記載しないこととしております。	C
14	④	収支計画表は、よりわかりやすいグラフ等で表示したものを記載すると、より理解できる。	収支計画については、歳入及び歳出の項目が多岐に渡り、また、その最大値と最小値の差も大きいことから、表で表記しています。	C
15	⑤	SDGsの一覧表が記載されているが、該当する項目のところへ、該当する絵図を表示したほうが、より理解できると思う。	SDGsの17の目標のアイコンを、それぞれの該当する項目へ表示すると、文字と絵図で見づらくなることから、本市場の取組項目をまとめて表示する現行の記載方法としております。	C
16	①	課題3：イベント等の協力で業者で差異が大きい。ありきたりのイベントも多く、若い人を中心としたイベント企画を多数立ちあげていけばと思う。	VIII-2-「市民参加型イベントの実施」の中で、市民参加型の各種イベントを実施することとしており、実施にあたっての参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
17	①	魚類市場について、荷受けの問題で荷の集荷をどの様に行っていくべきか？もっと力を入れるべきである。また、せり売だけでなく、相対売を増して価格の安定を図るべきである。	VIII-1-「業務内容の見直しとデジタル化による効率経営」の「業務内容の見直しによる効率化」の中で、既存の業務プロセスについて、効率性や実効性の観点で見直しを行うこととしており、今後の検討にあたり参考とさせていただきます。	D
18	③	青果市場であった桜島大根まつりに子供が参加しました。地域の農産物への理解と市場とのつながりを促す、とてもいい企画だと思います。桜島だけでなく他の地域、農産物にも広げたいと思います。	今後も開設者と市場関係者が一体となり、親しみのある市場となるよう生鮮食料品のPR活動や各種イベントの開催等に取り組むこととしており、今後の事業の実施にあたり参考とさせていただきます。	D
19	③	一般の人も買える日を増やして欲しいです。	青果市場の「青果市場感謝祭」や魚類市場の「お魚ファン感謝デー」など現在実施している市場の活性化の取組の拡大について、今後検討してまいります。	D
20	③	県外への配送を仲卸業者同士が共同し、積荷を集約できれば、配送コストの減少が図れると思う。	VIII-1-「業務内容の見直しとデジタル化による効率経営」の「業務内容の見直しによる効率化」中で、既存の業務プロセスについて、他都市の事例を参考にしながら見直しを行うこととしており、今後の検討にあたり参考とさせていただきます。	D
21	③	事務員が高齢化しており、ICT導入は、難航するのではと思う。ICT導入についても、業者選定など県外か県内であるかで、規模がかなり変化することが予想される。	VIII-1-「業務内容の見直しとデジタル化による効率経営」の「デジタル化による効率化」中で、ICTを活用した事業効率化を進めていくこととしており、ご指摘にあるようなデジタルデバインドへの対応も含め、今後の事業の実施にあたり参考とさせていただきます。	D
22	①	魚類市場について、仲卸は価格が高すぎると思います。小売の価格より高い場合がある。又、仲卸の対応が悪い。東京の豊洲市場の仲卸の対応の仕方を勉強した方が良い。	ご意見として承ります。	E
23	④	会計繰入金は増加基調であるが、ICT導入を考慮すると、収支は不足すると思う。魚類市場での地方債残高をみると、金額が大きい。R8年から減少していくが、計画通りに進捗するのかが疑問	ICT導入は主に市場関係者の負担で実施されます。魚類市場は、再整備により地方債残高は大きくなっておりませんが、国の補助金を活用するなど健全運営に努めてまいります。	E
24	⑤	「本県（市）の生産量の推移」は、出典が鹿児島市統計書であるので、「本市の生産量」とした方がよい。	青果物については「本市の生産量」（出典：鹿児島市統計書）ですが、水産物については「本県の生産量」（出典：鹿児島県「水産業振興施策の概要」）であることから、「本県（市）の生産量の推移」と記載しております。	E
25	⑤	細かいことですが、P3、7のグラフの出典の2行目はP2のように前を揃えた方が良いのでは？	ご指摘のとおり、修正します。	E
26	⑤	安心安全な食材をいつも提供くださり感謝します。	賛同のご意見として承ります。	E